



OLYMPUS

Your Vision, Our Future

工業用ビデオスコープ

IPLEX FX

IPLEX FX  
ステレオ計測  
リファレンスガイド



### 1. 光学アダプターを選択

- ライフ画面が表示されている状態でステレオ光学アダプターを取り付けると、ステレオ光学アダプターリストが表示されます。
- リスト内で、使用するステレオ光学アダプターを選択して、[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押してください。
- 新しくステレオ光学アダプターを使用する場合は、「ステレオ新規設定」を行う必要があります。設定方法の詳細につきましては、取扱説明書をご覧ください。

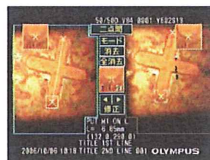
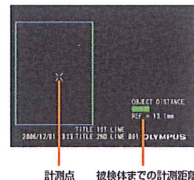


### 3. 各計測モードの詳細

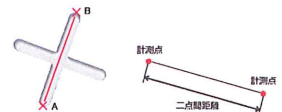
- [MEAS/ENTER]ジョイスティックを使い、画面中央の一番上のボタンにカーソルを合わせます。
- ジョイスティックの[計測タイプ]ボタンを押すと、8種類の計測モードが順番に表示されます。
- 以下、次の指示に従って進めてください。

### 2. 物体距離測定 (スポットレンジング) 機能

- [ZOOM]レバーを[W]方向に倒し、物体距離測定モードを起動させます。
- 挿入部を被検体に最も近いところに位置させるようにします。
- [MEAS/ENTER]ジョイスティックを操作し計測モードに進みます。

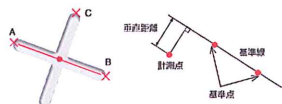


### A 二点間計測



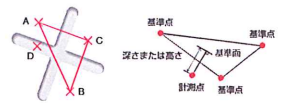
二点間計測は、2個の計測点を結ぶ線分の長さを計測します。  
1. 長さを測りたい線分の一端にカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、点Aを指定します。  
2. もう片方の一端に同時にカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、点Bを指定します。  
→ 線分ABの長さを示す計測結果が、画面下部に表示されます。

### B 線基準計測



線基準計測は、2点で指定される基準線から計測点までの距離を計測します。  
1. 基準線として指定したい線分の両端にそれぞれカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、点Aと点Bを指定します。  
→ 基準線ABが表示されます。  
2. 基準線ABからの距離を求めたい箇所にカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、計測点Cを指定します。  
→ 基準線ABから計測点Cまでの距離を示す計測結果が、画面下部に表示されます。

### C 面基準計測



面基準計測は、3点で指定される基準面から計測点までの距離を計測します。

1. 基準面として指定したい3点A、B、Cそれぞれにカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、点A、B、Cを指定します。  
→ 基準面ABCが表示されます。  
2. 基準面ABCからの距離を求めたい箇所にカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、計測点Dを指定します。  
→ 基準面ABCから計測点Dまでの距離を示す計測結果が、画面下部に表示されます。正の値の計測結果は計測点が基準面よりスコープ先端に近いこと（高さ）を示し、負の値は遠いこと（深さ）を示します。

### D 面積/全長計測



面積計測は、複数の計測点を結んで閉じられた場合に図形の面積を計測します。全長計測は、複数の計測点を結んだ線の長さを計測します。  
1. 測りたい図形または線の各点にカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、各点を指定します。  
→ 複数の計測点を結んだ線の長さを示す計測結果が、画面下部に表示されます。  
※ 一線の計測で最大20点まで指定できます。  
2. 面積を計測する場合は、図形の最後の点を指定した後にさらに1点を指定します。このとき、この1点と図形の最後の点を結ぶ線が最初の線と交差するようにします。  
→ 図形が閉じて面積を示す計測結果が、画面下部に表示されます。

### E 表面形状表示

表面形状表示は、2点を結ぶ線上における表面の形状を表示します。

1. 表面形状を調べたい線の両端にそれぞれカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、2点を指定します。  
→ 指定した2点を結ぶ直線と、光学中心で決まる平面で物体を切断したときの表面形状が表示されます。  
また、右側の表面形状グラフ画面には、光軸に垂直な方向から見た場合の表面形状が表示されます。



### F 自動欠損計測

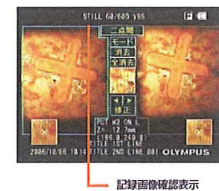


指定した2点の間にある欠損領域を自動的に検出し表示し、欠損の幅・深さ・面積を求めます。

1. 計りたい欠損の両端にそれぞれカーソルを合わせて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押し、基準点を指定します。  
左画面には、検出した欠損領域の輪郭線が表示されます。  
右側の欠損ウィンドウ上には、欠損の幅・深さ・面積が表示されます。  
2. 欠損ウィンドウ上にカーソルを移動させて[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押すと、欠損ウィンドウが透過状態となり、左画面とのマッチングの確認ができます。  
3. 欠損ウィンドウを再表示させるには、透過状態の欠損ウィンドウ上で[MEAS/ENTER]ジョイスティックを押します。

### 4. 計測結果を記録

- 操作部の[FRZ/REC]ボタンを2秒以上押し（長押し）、計測結果付きの画像を記録します。
- 画像が記録されると、[STILL]インジケータが表示されます。
- [VIEW]ボタンを押すことにより、いつでも記録した画像を取り出すことができます。

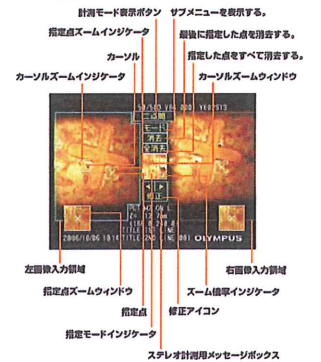


### 5. その他のステレオ計測機能

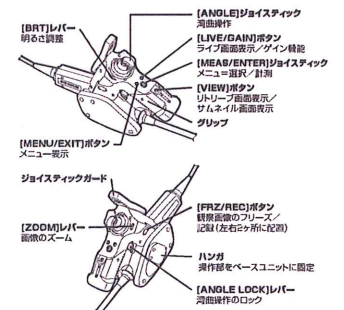
ステレオ計測のその他の機能に関する詳細は、IPLEX FX取扱説明書をご参照ください。

- **モードメニュー:** カーソルの色とポイントの種類を選択します。
- **修正:** 計測点または基準点を、左右の画像に合わせて調整します。
- **ズーム表示:** [ZOOM]レバーを[W]方向に倒すことにより、2〜4倍の倍率で画像を表示させることができます。
- **ファインポイント:** ズームの倍率が2倍以上になるとファインモードが起動され、さらに細かい間隔でカーソル位置を指定することができます。ファインモード起動中は、画面中央のカーソルズームウィンドウに[F]マークが表示されます。
- **記録画像のステレオ再計測:** IPLEX FXおよびIPLEX Viewer Plusソフトウェアを使用することにより、計測結果付きの記録画像の再計測が可能です。

### ステレオ計測画面の機能説明



### 操作部各部の名称、機能



※ 仕様・計測については、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

オリンパス株式会社  
〒163-0014 東京都新宿区新宿2-3-1 新宿モリス  
www.olympus.co.jp  
支店・営業所所在地  
東京 〒163-0014 新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス ..... 03(5660)14090  
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦2-10-25 日本生命ビル ..... 05(2020)19577  
大阪 〒542-0081 大阪府中央区南船場2-2-25 オリオンビル大阪センター ..... 06(6252)9992

注意  
● 本製品は使用しないときは、ご使用の品にあわせて電源プラグを抜き、安全に保管してください。  
警告  
● 人体や動物の身体部分には絶対に使用しないでください。人体や動物に接触すると怪我や死の原因となります。  
● 可燃性（爆発性）液体等では絶対に使用しないでください。爆発事故や火災を起す可能性があります。  
● メタリヤスチなどの有毒物質では使用しないでください。故障や火災を起す可能性があります。

OLYMPUS